

令和7年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(株) 札幌ドーム	所管課 記入者	ス) 企画事業課
基本財産	1,000,000千円	担当	上原 電話 011-211-3044
設立年月日	平成10年(1998年) 10月1日	本市出資額	550,000千円 (出資割合 55.0%)
		出資年月日	平成10年(1998年) 9月10日
設立・出資目的	施設規模や事業内容から市直営や既存の公益法人による運営は難しいものと考え、民間のノウハウを活用しながらも、公の施設として、広く市民に開放され活用されることができ望まれることから、札幌市の方針及び施策へ深い理解を持ち、公平性・公益性を担保した管理・運営を行うため。また、当事業によって得た利益を札幌市に還元されるようにするため。	沿革	設立
代表者	代表取締役社長 (常勤) 阿部 晃士 (市以外)		
主な出資者	① 札幌市 (55.0%) ② 札幌商工会議所 北海道電力 各 (5%) ③ 北洋銀行 北海道銀行 北海道瓦斯 北海道新聞社 サッポロビール 西武不動産		各 (3%)
団体所在地	〒 062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地	電話	011-850-1000

2 実施事業

(詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)		[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 貸館事業 (5ページ)		② 商業事業 (6ページ)	
内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与する。		イベント開催日及び非イベント日における札幌ドームの来場者に対して、飲食物販事業等により利便を提供する。	
③ 観光事業 (9ページ)		④ 市民利用事業 (10ページ)	
札幌の観光拠点のひとつとして、札幌ドームの年間を通じた幅広い集客を促進するとともに、国内ドーム初の展望台など施設の特性を活かした事業を展開する。		スポーツを愛する市民への利用を促進し、健康の維持向上やスポーツの普及振興を促進する。	
(5)		(6)	
(7)		(8)	
(2) 総支出に占める事業支出割合		99.4%	(主要事業支出合計 1,831,998千円 ÷ 総支出 1,843,650千円)
(3) 主要事業の有効性		(出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている	<input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
理由	貸館事業については、花火大会、eスポーツ世界大会、雪まつり特別連携行事等の多様なイベントを開催したことで、クローズドアリーナの稼働率及びイベント来場者数は前年度から上昇し、市民のスポーツ普及振興や市民文化の向上に寄与しているものと判断されるが、今後も更なる魅力アップや利用促進に向けた事業活動等を進めていくことで、より一層の活用が期待できる。		
(4) 主要事業の質・量		(出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている	<input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	札幌ドームの管理運営業務に習熟し、イベント誘致や自主イベント企画、広告、飲食・物販事業などにより、札幌ドームの安定的な管理運営、高品質なサービス提供を図るとともに、その収益の一部による利益還元を行ってきた。		

3 団体職員・構成員等

					令和7年4月1日現在(単位:人)				役員の任期	
役員	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				
	常勤取締役	1		2		10歳代	0	40歳代	7	
	常勤監査役				14	20歳代	4	50歳代	13	取締役 2 年
	非常勤取締役		7			30歳代	12	60歳代	0	監査役 4 年
	非常勤監査役		2			平均年齢 43.0 歳		代表権のある役員の就任年月		
職員	常勤管理職		1	14	37				取締役 H29.6	
	常勤一般職		22						監査役	
	非常勤職員								職員総数の推移(人)	
									R05.4.1時点 61	
									R06.4.1時点 54	

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R5年度決算	R6年度決算	(経常収入比)	(前年比)
財務 状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	1,385,499	1,887,164	(100.0%) (+501,665)
	損益 計算 書	売上高 (a)	1,271,771	1,787,505	(+515,734)
		営業費用 (b)	1,944,288	1,843,650	(▲ 100,638)
		うち販売費・一般管理費 (c)	477,975	336,516	(17.8%) (▲ 141,459)
		うち人件費(d)	478,682	444,090	(23.5%) (▲ 34,592)
		営業利益 (e)	▲ 672,517	▲ 56,145	(+616,372)
	営業外	営業外収益 (f)	113,728	99,659	(▲ 14,069)
		当期純利益(g)	▲ 651,153	42,984	(+694,137)
	貸借 対照 表	資産(h)	3,127,642	3,292,756	(+165,114)
		流動資産(i)	2,850,131	3,028,857	(+178,726)
		固定資産(j)	277,511	263,899	(▲ 13,612)
		負債(k)	580,160	702,289	(+122,129)
		流動負債(l)	503,687	672,015	(+168,328)
		固定負債(m)	76,473	30,274	(▲ 46,199)
		純資産(n)	2,547,483	2,590,467	(+42,984)
		資本金(o)	1,000,000	1,000,000	(0)
		借入金残高(p)	0	0	(0)

R6年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	イベント利用日数は、前期を大きく上回る129日（前期比31日増）となり、それに伴いイベント来場者数は111万2千人（前期比11.6%増）となった。売上高は17億87百万円（前期比5億15百万円増）となり、北海道日本ハムファイターズが北広島に移転してから2年目にして、単年度黒字を達成した。
e,g	各種新規イベントの誘致により利用日数が大幅増となったこと、またネーミングライツ契約を締結したことにより、貸館事業及び駐車場・広告事業を含むその他営業収益は大幅な増収となった。一方で、観光事業は、イベントの利用日数の増加により営業日数が減少したことによる減収となった。
n,p	借り入れもなく、健全な財務状況を維持している。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R5年度決算	R6年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	140,460	223,803	(+83,343)
市委託料	89,046	73,146	(▲ 15,900)
市業務委託料	10,331	10,976	(+645)
うち随意契約	10,331	10,976	(+645)
市指定管理費	78,715	62,170	(▲ 16,545)
うち非公募	78,715	62,170	(▲ 16,545)
(参考) 再委託額	10,331	10,976	(+645)
うち市業務委託分	10,331	10,976	(+645)
再委託率	(11.6%)	(15.0%)	(+3.4%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考) 市施設利用料金収入	665,203	860,442	(+195,239)
うち非公募	665,203	860,442	(+195,239)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R5年度	R6年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	1,547,483	1,590,467	(+42,984)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	81.5%	78.7%	(▲2.8%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	565.9%	450.7%	(▲115.1%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	10.9%	10.2%	(▲0.7%)	≤100%	固定資産÷正味財産
(2)生産性	借入金依存度(p÷h)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
	職員一人当たり経常収益	22,713千円	34,947千円	(+12,234千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	37.6%	24.8%	(▲12.8%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当たり管理費	7,836千円	6,232千円	(▲1,604千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
(3)自立性	管理費率(経常収益比)(c÷a)	37.6%	18.8%	(▲18.8%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
	市依存度(収入)	64.6%	61.3%	(▲3.2%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	64.6%	61.3%	(▲3.2%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
	健全性の評価	■ 非常に高い	□ 高い	□ 概ね健全	□ やや低い	□ 低い
理由	健全性について、債務超過や累積欠損の状態になく、借入金はない。自己資本比率は50%以上、流動比率は150%以上、固定比率は100%以下であり、望ましい水準を維持している。また、生産性、自立性についても、前年度から比較しそれぞれ改善している。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、指標(※2)の達成状況の評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組計画		現状値 (R5年度)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	備考
No.	指標名						
○出資の継続							
①	市出資金(出資比率)	目標	550,000千円	550,000千円	550,000千円	550,000千円	
		実績	550,000千円	550,000千円			
		評価	(出資比率55.0%)	出資比率55.0%			
未達成理由と今後の対応(R6年度の評価が未達成の場合のみ記載する)							

(2)人的の関与

○取組計画		現状値 (R5年度)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	備考
No.	指標名						
○役員(非常勤)就任の継続							
①	役員(非常勤)就任数	目標	1	1	1	1	
		実績	1	1			
		評価		達成			
未達成理由と今後の対応(R6年度の評価が未達成の場合のみ記載する)							

(3)団体の活用

○取組計画		現状値 (R5年度)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	備考
No.	指標名						
○プロスポーツイベントの継続開催							
①	プロスポーツの開催数	目標	25	25	25	25	
		実績	25	26			
		評価		達成			
②	大規模イベントの開催数	目標	10	10	10	10	
		実績	9	6			
		評価		未達成			
未達成理由と今後の対応(R6年度の評価が未達成の場合のみ記載する)							
予定していた新モードの音楽フェスが開催に至らなかったこと等により未達成となった。今後は、びあ等の民間事業者との連携を深めコンサート誘致に取り組んでいく。							

(4)更なる経営の安定化

○取組計画		現状値 (R 5年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	備考	
No.	指標名							
○収支改善に向けたイベント開催日数の増								
①	イベント開催日数	目標	123	123	123	123		
		実績	98	129				
		評価	達成					
②	イベント開催日数	目標	68.5	68.5	68.5	68.5		
		実績	62.60%	70.40%				
		評価		達成				
未達成理由と今後の対応（R 6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

(5)団体統制

○取組計画		現状値 (R 5年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	備考	
No.	指標名							
○内部統制システム構築に関する基本方針に基づく活動の実施								
①	内部監査の実施回数	目標	1回	1回	1回	1回		
		実績	1回	1回				
		評価		達成				
未達成理由と今後の対応（R 6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

(6)札幌市の施策との連動

○取組計画		現状値 (R 5年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	備考	
No.	指標名							
○アマチュア・市民利用の拡充								
①	アマチュア大会の開催数	目標	20	24	24	24		
		実績	20	28				
		評価		達成				
②	市民利用事業等の利用人数	目標	45000	45000	45000	45000		
		実績	42,067人	40382				
		評価		未達成				
未達成理由と今後の対応（R 6年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								
ホヴアリングサッカーステージの芝の生育不良に起因した屋外サッカー場の供用制限等により未達成となった。今後は、サッカーステージについて、早期に供用制限を解除できるよう努め、市民利用人数の増を図る。								

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報													
ホームページアドレス		https://www.sapporo-dome.co.jp/											
Eメールアドレス													
【経営状況等】													
<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 団体機構図 <input type="checkbox"/> 事業計画書 <input type="checkbox"/> 予算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画													
【事業情報等】													
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報 <input type="checkbox"/> 管理施設情報 <input type="checkbox"/> その他（ ）)													
ホームページ以外の情報媒体													
広報誌・冊子の発行： 札幌ドームガイド（パンフレット）、地下鉄広告、X（札幌ドーム公式アカウント）、YouTube、LINE													

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和7年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) 貸館事業

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 大久保	電話： 211-3045
(1)事業内容	①貸館事業（イベント誘致やイベント運営のサポートを含む） ②自主事業 ・自主イベント（北ガスグループリーマラソン、ふわふわアドベンチャー、サッポロモノヴィレッジ、大ほっかいどう祭） ・友の会組織（メンバーズクラブ）事業 ・チケット販売、管理 ・広告事業 ・コインロッカー事業 ・セールスプロモーション事業 ③施設設備の維持管理 ④駐車場の管理運営 ⑤周辺環境対応業務（札幌ドームの周辺の迷惑駐車防止の対策など） ⑥広報・PR活動 ⑦アマチュアスポーツ大会の実施	市補助金 56,460 市指定管理費(非公募) 62,170 市委託料(随意契約) 10,976 市補助金 167,343	
(2)事業目的	内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供することに等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与する		
(3)事業開始	平成13年(2001年) 6月		

2. 実施結果

(1) 事業収支(単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
	収入 (経常収益比)	1,172,495 (84.6 %)	1,708,194 (90.5 %)	(+535,699)
	市補助金・交付金・負担金	127,691	223,803	(+96,112)
	市業務委託料	9,392	10,976	(+1,584)
	市指定管理費	78,715	62,170	(▲ 16,545)
	市施設利用料金収入	588,388	767,305	(+178,917)
	自主事業収入（補助金除く）	208,425	341,253	(+132,828)
	その他収入	159,884	302,687	(+142,803)
	費用（支出）	1,691,288	1,664,339	(▲ 26,949)
	事業費	1,273,492	1,358,899	(+85,407)
	管理費等	417,796	305,440	(▲ 112,356)
	収支差	▲ 518,793	43,855	(+562,648)
	収支比率	69.33%	102.63%	(+33.31%)
(2)活動指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
① 自主イベント開催日数	12	10	10	10
② アマチュアスポーツ大会開催日数	20	27	28	24
③				
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
① 札幌ドームクローズドアリーナ稼働率	62.6%	68.5%	70.4%	67.1%
② イベント来場者数	997,397	914,100	1,112,940	1,101,600
③				
④				
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は ■ 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> □ 高める余地あり <input type="checkbox"/> □ 出ていない
サッカー、ラグビーなどのプロスポーツの試合開催により国内最高峰のスポーツを観戦する機会を市民・道民に対し幅広く提供したほか、アマチュアスポーツ大会の開催を受入れ、利用料金の減額等を実施するなど、市民・道民が札幌ドームを直接利用してスポーツを実施する機会の確保に努めた。	
	また、花火大会、eスポーツ世界大会、雪まつり特別連携行事等の多様なイベントを開催したことで、クローズドアリーナの稼働率及びイベント来場者数は前年度から上昇し、目標を達成した。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は □ 良好 <input type="checkbox"/> ■ 見直しの余地あり <input checked="" type="checkbox"/> □ 要改善
	イベント開催日数の増加やネーミングライツ契約の締結により昨年度から収支比率は約26%増加した。 令和7年度は、収益性の高いイベントの誘致、自主イベントでの収益率の向上、経費の見直し等による更なる収支改善に務めることを求める。

事業評価 (2) 商業事業

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 大久保	電話： 211-3045
(1)事業内容	①通年営業飲食店舗の管理・運営 ②イベント開催時営業の飲食売店及び仲売業務の管理・運営 ③通年営業物販店舗の管理・運営(R5年より) ④イベント開催時営業の物販ワゴン販売の管理・運営 ほか		
(2)事業目的	<1>イベント開催日及び非イベント日における飲食物販事業による、ドーム来場者に対する利便の提供 <2>ドーム経営の安定化に資するための収益事業として		
(3)事業開始	平成13年(2001年) 6月		

2. 実施結果

	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
		191,729	184,710	(▲ 7,019)
(1)事業収支(単位千円)	(経常収益比)	(13.8 %)	(9.8 %)	
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
	市業務委託料	0	0	(0)
	市指定管理費	0	0	(0)
	市施設利用料金収入	0	0	(0)
	自主事業収入（補助金除く）	191,729	184,710	(▲ 7,019)
	その他収入	0	0	(0)
	費用（支出）	185,680	125,674	(▲ 60,006)
	事業費	139,812	102,610	(▲ 37,202)
	管理費等	45,868	23,064	(▲ 22,804)
収支差		6,049	59,036	(+52,987)
収支比率		103.26%	146.98%	(+43.72%)
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
①	販売促進キャンペーンの実施回数	10	10	10
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R7年度目標
①	商業事業売上（千円）	186,693	174,744	175,695
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input type="checkbox"/> 十分出ている	<input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
	販売促進キャンペーンの実施回数は目標値を達成し、商業事業売上は目標値を上回っていた。「飲食事業」では食品衛生講習会などを実施し、食の安全を最優先に衛生管理を徹底したうえで、来場者ニーズを反映した商品内容・価格帯の多様化に努め、来場者サービスの向上に繋げた。また、北海道コンサドーレ札幌と協力したメニュー開発など、食のエンターテイメント性を高める取組みを行った。「物販事業」においても、北海道コンサドーレ札幌と連携して来場者促進に努めた。なお、飲食事業については、イベント主催者等と連携し、魅力的な商品の提供に努める等により、更なる来場者サービス向上に期待する。			
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	事業費や管理費の大幅な削減に努めた結果、前年度比約43%の増加を達成している。令和7年度以降は、イベントの形態に応じて、来場者ニーズに対応したサービス提供を強化し、客単価の向上を図ることで更なる成果が得られるものと考えられることから、効率的な販売体制の構築や提案力の向上が望まれる。結果として、更なる収益拡大を期待する。			

事業評価 (3) 観光事業

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 大久保	電話： 211-3045
(1)事業内容	<p>①ドーム展望台事業の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展望台運営 ・来場者サービス（季節装飾設置、旅行会社とタイアップした各種割引、企画展の実施など） <p>②ドーム見学ツアー事業の管理・運営、カプセルトイの販売</p>		
(2)事業目的	<p><1>札幌の観光拠点のひとつとして、年間を通じた幅広い集客の促進</p> <p><2>非イベント日における収益事業として、国内ドーム初の展望台など施設の特性を活かした事業展開の実施</p>		
(3)事業開始	平成13年(2001年) 6月		

2. 実施結果

(1) 事業収支(単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
		7,353	3,659	(▲ 3,694)
収入 (経常収益比)	(0.5 %)	(0.2 %)		
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
市業務委託料	0	0	(0)	
市指定管理費	0	0	(0)	
市施設利用料金収入	3,853	2,982	(▲ 871)	
自主事業収入(補助金除く)	3,500	677	(▲ 2,823)	
その他収入	0	0	(0)	
費用(支出)	34,066	22,957	(▲ 11,109)	
事業費	25,650	18,744	(▲ 6,906)	
管理費等	8,415	4,213	(▲ 4,202)	
収支差	▲ 26,713	▲ 19,298	(+7,415)	
収支比率	21.58%	15.94%	(▲ 5.65%)	
(2)活動指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
① 札幌市や旅行会社等とのタイアップ企画の実施回数	30	31	29	30
② ※上記には市内観光施設との相互連携を含む				
③				
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
① 観光来場者数	16,933	14,057	9,148	6,865
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出ていない
事業目的の達成に向け、札幌市や旅行会社等のタイアップ企画、市内観光施設との相互連携策を継続して実施した。また、季節感を出した装飾設置の継続に加え、海外向け観光案内媒体への出稿やウェブサイトの翻訳機能、多言語案内可能なデジタルサイネージの設置により、海外からの観光客の取り込みも行うなど、年間を通じた幅広い集客に努め、事業目的の達成に向けた事業展開を図っている。	
	非イベント日の施設活用は課題のひとつであるため、展望台を活用した事業展開の検討や、イベントの実施など、観光拠点としての更なる魅力アップに向けた取組みが望まれる。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	観光来場者数が前年度から減少し、収支比率も約5%減少している。展望台でのイベント開催など施設の特色を活かした取組みを推進することで、収益力及び集客力の向上に努めることを求める。

事業評価 (4) 市民利用事業

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 大久保	電話： 211-3045
(1)事業内容	①クローズドアリーナにおける草野球等の市民への利用開放 ②サッカー練習場の市民への利用開放 ③トレーニング室の利用管理 ④ブルペンの利用開放(2022.7より) ⑤運動教室・ナイトランの実施（自主事業） ⑥キッズパーク、スケートボードエリア、レバンガコートの利用管理 ⑦ゆきひろば関連事業		
(2)事業目的	スポーツを愛する市民への利用を促進し、健康の維持向上やスポーツの普及振興への貢献		
(3)事業開始	平成13年(2001年) 6月		

2. 実施結果

(1) 事業収支(単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)
	収入 (経常収益比)	13,923 (1.0 %)	13,741 (0.7 %)	(▲ 182)
市補助金・交付金・負担金	0	0		(0)
市業務委託料	0	0		(0)
市指定管理費	0	0		(0)
市施設利用料金収入	12,489	11,932		(▲ 557)
自主事業収入(補助金除く)	1,434	1,809		(+375)
その他収入	0	0		(0)
費用(支出)	20,579	19,028		(▲ 1,551)
事業費	15,496	15,536		(+40)
管理費等	5,084	3,492		(▲ 1,592)
収支差	▲ 6,656	▲ 5,287		(+1,369)
収支比率	67.66%	72.21%		(+4.56%)
(2)活動指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①市民利用における自主事業開催日数	57	56	35	50
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
(3)成果指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①草野球等利用の利用者数	968	1,000	692	1,000
②サッカー練習場の利用者数	14,363	15,400	11,767	15,400
③トレーニング室の利用者数	25,969	27,800	26,977	27,800
④ブルペンの利用人数	767	800	946	800
⑤				
⑥				

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input type="checkbox"/> 十分出ている	<input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出ていない
プロ野球やプロサッカーで使用する屋内アリーナやサッカーグラウンドを市民利用に供することで、高品質な施設で市民が野球・サッカーを楽しめる場を提供したが、ホヴァリングサッカーステージの芝の生育不良に起因した屋外サッカー場の供用制限もあり、利用者数が目標に達しなかった。				
	また、前年度に引き続き、3階コンコースをランニングコースとして開放する「ナイトラン」事業実施のほか、パワープレートやパートナーストレッチなどのサービスを実施するなど、自主事業の展開も含めた利用促進を図った。			
	今後は、サッカーステージの早期供用再開に努め、また、スケートボードエリアやバスケットコートエリアの活用促進を進めるとともに、ゆきひろばの利用者拡大を期待する。			
(2) 収支状況				
	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
市民利用については、目標値には届かなかったが、収支比率は前年度比約4.6%増となった。				
	市民が利用しやすい料金設定となっているため、市民利用単独では収支の黒字化を達成することは難しいが、経費削減等の効率的な管理運営に努める一方、広告媒体を活用した効果的な利用促進や新規事業の実施など、市民利用の機会増大施策の検討が望まれる。			

貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,028,856,625	流動負債	672,015,183
現金及び預金	2,457,657,760	買掛金	5,248,796
売掛金	212,468,971	未 払 金	391,672,915
商品	6,611,850	未 払 費 用	39,526,238
貯蔵品	2,408,722	未 払 法 人 税 等	6,521,985
前払費用	290,100	未 払 消 費 税 等	53,497,400
未収入金	301,882,412	前 受 金	169,133,297
その他の	47,536,810	預 金	6,414,552
		固 定 負 債	30,273,628
固定資産	263,899,199	長期預り保証金	26,000,000
有形固定資産	(234,125,386)	長期預り敷金	2,773,628
建物	224,307,881	役員退職慰労引当金	1,500,000
工具器具備品	9,817,505		
		負債合計	702,288,811
投資その他の資産	(29,773,813)	(純資産の部)	
投資有価証券	10,019,738	株主資本	2,590,467,013
長期前払費用	367,675	資本金	(1,000,000,000)
退職積立金	19,386,400	利益剰余金	(1,590,467,013)
		利 益 準 備 金	36,000,000
		そ の 他 利 益 剰 余 金	1,554,467,013
		繰越利益剰余金	1,554,467,013
		純資産合計	2,590,467,013
資産合計	3,292,755,824	負債及び純資産合計	3,292,755,824

損益計算書

(自 令和6年4月1日)
(至 令和7年3月31日)

(単位:円)

科 目		金 額
売 上 高		
貸 館 事 業	1,243,155,453	
商 業 事 業	175,695,350	
観 光 事 業	3,659,346	
そ の 他 営 業 収 益	364,994,986	1,787,505,135
売 上 原 價		1,507,133,997
売 上 総 利 益		280,371,138
販売費及び一般管理費		336,515,759
営 業 損 失		56,144,621
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	369,861	
受 取 手 数 料	9,623,440	
受 取 貸 貸 料	21,775,674	
雜 収 入	67,890,103	99,659,078
経 常 利 益		43,514,457
税 引 前 当 期 純 利 益		43,514,457
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	530,000	
法 人 税 等 調 整 額	-	530,000
当 期 純 利 益		42,984,457